

平成30年度

御坊市日高川町中学校組合
教育委員会点検評価報告書

(平成29年度事務事業分)

I 点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき PDCA のマネジメントサイクルを確立すべく、平成20年度以降教育委員会が行った事務事業の点検評価（以下「評価等」という。）を実施し、教育委員会評価委員会の意見を受け、報告書としてまとめました。

1. 評価の対象

今回実施した評価の対象は、本組合教育委員会が主体となって平成29年度に実施した事業のうち主なもので、下記8事業です。

番号	事務事業の名称
1	教育委員会の運営
2	就学奨励事業
3	学校健康管理事業
4	部活動奨励事業
5	学校図書整備事業
6	学校施設整備事業
7	情報教育環境整備事業
8	学校備品整備事業

2. 評価等の方法

- (1) 各事務事業における評価項目を「必要性」、「効率性」、「有効性」及び「公平性・透明性」とし、それぞれについての分析並びに評価をし、課題や今後の対応等について検証を行いました。
- (2) 評価は4段階評価とし、それぞれの評価項目について下記のとおりとしました。

評価項目	4	3	2	1
必要性	必要性は高い	必要性はある	必要性は少ない	必要性はない
効率性	効率性は高い	効率的である	効率性は低い	効率的でない
有効性	効果は大きい	効果はある	効果はあまりない	効果はない
公平性 透明性	十分確保されている	確保されている	欠ける部分がある	確保できていない

(3) 「今後の方向性」については、「廃止・終了」、「休止」、「継続」、「拡大」及び「見直し」の5つの方向性で表しました。

(4) 評価等の際し、評価等の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など5人で構成する教育委員会評価委員会で様々なご助言をいただきました。

なお、教育委員会評価委員会の委員は次の方々です。(50音順、敬省略)

氏 名	所 属 等
東 節 子	学識経験者
芝 正 人	学識経験者
戸 根 一 彦	学識経験者
中 村 佳 美	学識経験者
山 本 尚	学識経験者

3. 評価等の結果

教育委員会の自己評価の結果は、次のとおりです。

□ 評価の判定別事務事業数

評 価	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
事業数		8		

□ 今後の方向性別事務事業数

方 向	廃止・終了	休 止	継 続	拡 大	見 直 し
事業数			8		

4. まとめ

本組合は、日高川町と御坊市が構成団体の一部事務組合であり、両市町の生徒数による按分により経費を負担しており、特異な予算で運営されている。

このような中、本年度の自己評価の判定においても、総合評価で全て「できている」と評価しました。

しかし、将来的な問題として、現時点で十分な対応ができていない事業であっても、両市町の財政面での状況によっては十分な予算が確保できなくなることも危惧される事業もあることから、今回の自己評価により明らかとなってきたそれぞれの事業の課題をもとに、事務事業の目的、必要性等を踏まえ、計画的な事業展開と、より効果的な手法の模索など常に問題意識を持って取組んでいくことが重要であると考えます。

教育委員会としましては、依然として厳しい財政状況の中、生徒ニーズへの対応と教育課題の解消に向け、事務事業の優先度や緊急度等を勘案し、引き続き計画的、重点的な事業実施に努めなければならないと考えます。

点検評価結果

点検評価結果

1 教育委員会の運営

〔平成29年度の主な取組状況〕

年間3回の定例会と2回の臨時会を開催し、教育行政の具体的な施策の展開等について協議したり、組合長との連携を図るための総合教育会議も2回開催した。また、各種研修会への参加により教育行政に関しての情報収集及び知識の向上に努めるとともに、学校訪問を実施し、積極的に学校との連携を図った。

〔総合評価の判定と今後の課題・方向〕

総合評価としては「できている」との判定とした。判断理由としては、本組合の教育行政についての審議を行い、教育に関する施策の推進・充実を図ったことによるものである。

また、今後の方向性として教育委員会の透明化等の観点から、その審議事項や活動状況の公表、広報の方法等について、考えていく必要がある。

2 就学奨励事業

〔平成29年度の主な取組状況〕

準要保護生徒34人並びに特別支援学級生1人に対して必要な費用等を補助した。

〔総合評価の判定と今後の課題・方向〕

総合評価は「できている」との判定をした。

本事業は、学校教育法により自治体の責務とされており、経済的な理由により就学が困難である生徒に対する施策として必要不可欠な制度であるが、社会的な動向と同じく、大成中学校においても当該制度該当家庭が増加の傾向にあり、国や周辺自治体の動向を見極めながら、支給時期並びに支給基準等について検討していく必要がある。

なお、平成31年度入学生徒から保護者の入学前の負担軽減を図るため、3月に入学前準備金（学用品費）として支給予定としている。

3 **学校健康管理事業**

〔平成29年度の主な取組状況〕

学校保健安全法、労働安全衛生法に基づく健康診断を実施し、教職員は100%の受診率を得た。また199名の生徒に対して結核検診を実施した。

〔総合評価の判定と今後の課題・方向〕

本事業については、受診率も高く、効率的且つ効果的に実施されており、生徒や教職員の疾病の早期発見と健康の増進に努めたことから、総合評価は「できている」と判定した。

今後は、学校や診療機関との連携により健診日程等の設定を行うなど、より受診し易い環境を作るとともに、40歳以上の教職員の生活習慣病等に関わる特定健康診査の受診啓発に努めていく必要がある。

また、ストレスチェックを本年度から実施しているが、受診し易い環境づくりに努めていく必要がある。

4 **部活動奨励事業**

〔平成29年度の主な取組状況〕

日常の部活動補助として7部に対し補助金を交付した。また日高地方中体連及び全国中学校総合体育大会への生徒派遣に関し補助金を交付した。

〔総合評価の判定と今後の課題・方向〕

日常での部活動に対する補助や、各種大会への生徒派遣に対する補助等についても充実した内容での補助が実施されており、総合評価では「できている」と判定した。

部活動は、学校におけるスポーツ・文化活動の振興・充実及び保護者の経済的な負担軽減はもとより、生涯を通じて主体的にスポーツ・文化活動に親しんでいこうとする意欲や態度等を育む生涯学習の観点からも維持すべき事業であり、今後も引き続き予算確保に努めていく。

5 **学校図書整備事業**

〔平成29年度の主な取組状況〕

新刊図書の購入及び老朽化等により廃棄が必要な図書の補充等を図った。

〔総合評価の判定と今後の課題・方向〕

今年度はクラス数の関係で標準蔵書数は達成できており、総合評価は「できている」と判定した。

子ども読書活動の推進を図る上で、読書環境の充実は最も重要であり、今後も読書環境の整備に努めていく必要がある。

6 学校施設整備事業

〔平成29年度の主な取組状況〕

事務局所管の事業として、大小含め7の修繕を実施した。限られた予算の中で学校の要望や必要性、緊急性を考慮しながら可能な限りの修繕を実施した。

〔総合評価の判定と今後の課題・方向〕

平成29年度においても、築40年近く経過した校舎など、その都度、必要性、緊急性を考慮しながら施設の修繕が実施されたことから、教育環境の向上と学習意欲の高揚が図れたことから、総合評価においては「できている」との判定とした。

しかし、こうした事業については両市町の財政状況に大きく左右されるものであり、今後の学校施設の整備に関しては、緊急性や必要性について、より精査し実施していくことが必要となる。

7 情報教育環境整備事業

〔平成29年度の主な取組状況〕

教育用コンピュータによる情報教育の実施と、情報教育機器の適正な維持管理に必要な保守管理委託を実施した。

〔総合評価の判定と今後の課題・方向〕

必要な機器の更新については、滞りなく実施されてきており、コンピュー

ターを使用した授業を行うなど情報活用能力の向上を図るための教育に大いに活用されていることから、総合評価では「できている」とした。

情報機器は、常に進歩しており、それに伴い教育用ソフトも充実化してきていることから、必要な整備に要する予算の確保等に努める必要がある。

今後、プログラミング教育の充実を図っていくためには、更に情報環境の整備に努めていく必要がある。

8 学校備品整備事業

〔平成29年度の主な取組状況〕

老朽化等により不具合が生じている備品及び使用教科用図書の変更等により必要となった備品の買換えを実施した。

〔総合評価の判定と今後の課題・方向〕

学校からの要望に対して、必要性・緊急性を十分に精査した上で予算化し、予算執行に際しては、入札制（見積書徴収）を採用し、公平性を確保し透明性を高めるよう努めたことから、総合評価での判定は、「できている」との判定をした。

より良い教育環境の整備や、学習指導の効率化を図るうえにおいて、教育用備品の充実は欠かせない要素のひとつであるが、学校が要求する備品については量が非常に多く、また質も高いことから予算措置や執行に当たっては、その内容を十分精査する必要がある。

加えて計画的な購入やリースの活用等効率的な整備を行うための方策を検討し、整備を実施していくことが大切である。

なお、今年度導入した主な備品についても、十分に活用されているか検証する必要もある。

参考資料

事務事業評価一覧表

御坊市日高川町中学校組合教育委員会

	事務事業名	事業の目的	事業の内容	総合評価		
				判定	今後の方向性	判定理由、課題、今後の対応等
1	教育委員会の運営	教育行政について審議を行い、本組合の教育行政の具体的な施策の推進、充実を図る。	教育委員会定例会及び臨時会の開催、学校訪問の実施、研修会・情報交換会等への参加	3 できている	継続	本組合の教育行政についての審議を行い、教育に関する施策の推進・充実を図った。教育長の責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、組合長との連携強化を図るため、総合教育会議で共有を図っていく。
2	就学奨励事業	経済的理由により、就学困難な生徒に対し、必要な援助を行う。	学用品、修学旅行費、医療費、給食費等の補助	3 できている	継続	経済的理由により、就学困難な生徒に対し必要な援助を行った。今後、町広報誌などを通して保護者への制度周知を徹底することは勿論、国の基準や地域の動向を見極めながら、支給項目、支給基準等について検討していくことが必要である。また、市並びに町立の小中学校では入学前準備金(学用品費)を支給(予定含む)している事から、平成31年度入学生から入学前の3月に支給。
3	学校健康管理事業	健康診断実施による生徒、教職員等の疾病の早期発見と健康の増進	定期健康診断や生活習慣病予防検診等の実施	3 できている	継続	生徒・教職員の疾病の早期発見と健康増進に努めた。教職員が受診しやすい環境を維持するとともに、40歳以上の生活習慣病等に関わる特定健康診断の受診啓発に努めていく必要がある。
4	部活動奨励事業	学校における体育・文化の振興及び保護者負担の軽減	日常の部活動や各種大会への参加に対する補助	3 できている	継続	学校における文化・体育活動の振興・充実及び保護者の経済的な負担軽減はもとより、生涯を通じて主体的に体育・文化活動に親しんでいこうとする意欲や態度等を育む生涯学習の観点からも維持すべき事業であり、引き続き予算の確保に努めていく。
5	学校図書整備事業	図書に親しみ読書の習慣づくりを推進することにより、学力の向上と情操教育の充実を図る。	学校図書の購入及び整理	3 できている	継続	子どもの読書活動の推進を図る上で、読書環境の充実が最も重要であり、今後も読書環境の整備に努めていく必要がある。
6	学校施設整備事業	校舎等の整備を行うことにより、教育環境の向上と学習意欲の高揚を図る。	老朽化等により不具合の生じた施設の改修等	3 できている	継続	築40年が経過し施設は老朽化してきており、施設の環境整備を積極的に進めていく。整備に当たっては、学校が要望するものの中から緊急度や必要性を検討し、予算の範囲内で実施している。今後も要望を精査するとともに、必要な予算の確保に努めていく。
7	情報教育環境整備事業	コンピュータによる授業の充実を図り、生徒の学力及び情報処理能力の向上を図る。	情報手段を活用した学習活動に因應するための情報機器及び学習環境の整備	3 できている	継続	プログラミング教育の充実を図っていくため、さらに情報環境の整備に努めていく。ハード面での整備は済んでおり、今後はソフト面及びセキュリティ面での充実やモラル研修、情報活用能力の向上を図っていく必要がある。
8	学校備品整備事業	備品の整備・充実を図ることにより、生徒の教育環境の向上と学習意欲の高揚を図る。	老朽化等により不具合が生じている備品及び使用教科用図書の変更等により必要となる備品の整備	3 できている	継続	新学習指導要領に即した優先順位付け、緊急性、必要性を十分に精査し学校備品整備に努めていく。

評価委員会の教育委員会事務事業評価に対する主な意見等

事務事業名	意見・提案等
教育委員会の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・事務の一元化の方向で進んでいるが、校区民にも十分配慮するとともに、生徒の教育上支障を来すことのないよう管理運営されたい。 ・組合教育委員会のHPを創設（市又は町HPへの加入含）いただきたい。
就学奨励事業	<ul style="list-style-type: none"> ・奨励費は学校長が現金支給をされているが、効率化等からも振込の方向で検討されたい。
学校健康管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の多忙化がますます増える傾向にあり、メンタル面での把握方法として、ストレスチェックの実施を今後も、推進して欲しい。
部活動奨励事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数の減少により、部活動も過渡期を迎えている中、教員数も限られており、外部指導員の導入は良いと思う。 ・今は、部活動指導は専門性が求められる中、転勤もあり、指導する教員の負担も大きい。
学校図書整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書数とともに、どれだけの生徒が読書をしたかの方が大事であるため、全校読書は継続して欲しい。 ・パソコンによる蔵書管理を進めていただきたい。
学校施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭のトイレは、ほぼ洋式のため、洋式化を進めていくべきである。 ・木工教室の修繕並びにグラウンド整備を実施していただきたい。
情報教育環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理だけでなく、指導要領の中で各教科において活用できる「タブレット端末」の購入を望みます。
学校備品整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・購入された備品がどれだけ活用されたかを今一度、検証する必要がある。

事務事業名		教育委員会の運営			担当	教育課
目的		教育行政について審議を行い、本組合の教育行政の具体的な施策の推進、充実を図る。				
事務事業の内容		教育委員会定例会及び臨時会の開催、学校訪問の実施、研修会・情報交換会等への参加				
根拠法令等		地方自治法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律				
事業コスト	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	396	375	338	定例会＝学期に1回開催 (臨時会＝必要に応じて開催)
	うち一般財源	千円	396	375	338	
実績・成果	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	定例会・臨時会	回	4	4	6	総合教育会議(組合長との)＝2回
	学校訪問	回	2	2	2	
	委員会での審議件数	件	6	4	12	
	研修会等参加日数	日	3	2	2	
評価項目	評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。 			
		評価に対する説明等				
		地方自治法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で、教育委員会の設置の義務及び教育委員会が行うべき事務等について規定されている。				
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> 事務は効率的に実施されているか。 コスト削減の工夫がなされているか。 			
		評価に対する説明等				
		御坊市日高川町教育委員会会議規則に則り運営されており、事務は効率的に実施されている。				
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> 事業の目的に照らして効果的な手法か。 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 			
		評価に対する説明等				
		施策や運営方針等の決定を行うという現在の会議の目的は、妥当であり、目的の実現に寄与している。				
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		3	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効果は公平に配分されているか。 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 			
		評価に対する説明等				
		会議は、原則公開で実施しており、傍聴することができる。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	本組合の教育行政についての審議を行い、教育に関する施策の推進・充実を図った。教育長の責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、組合長との連携を強化を図るため、総合教育会議で共有を図っていく。				

事務事業名		就学奨励事業			担当	教育課
目的		経済的理由により、就学困難な生徒に対し、必要な援助を行う。				
事務事業の内容		学用品費、修学旅行費、医療費、給食費等の補助				
根拠法令等		学校教育法、就学援助要綱				
事業コスト	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	3,265	3,301	3,425	一部国補助 27年度= 0千円 28年度= 0千円 29年度= 16千円
	うち一般財源	千円	3,265	3,301	3,425	
実績・成果	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	準要保護生徒数	人	36	37	34	
	要保護生徒数	人	0	0	0	
	特別支援生徒数	人	0	0	1	
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。			
			・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。			
		評価に対する説明等				
		学校教育法により自治体の責務として明記されている。				
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		3	・ 事務は効率的に実施されているか。			
			・ コスト削減の工夫がなされているか。			
		評価に対する説明等				
最近の経済状況の変化により、支援が必要な生徒が増える傾向にあり、また学校からの随時申請があり、その都度適正に処理されている。						
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。			
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。			
		評価に対する説明等				
経済的理由により就学困難な生徒に対する就学援助は、有効な制度である。						
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の効果は公平に配分されているか。			
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。			
		評価に対する説明等				
学校を通じて周知を図っているが、今後とも有効的な周知の方法等を検討していく。						
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	経済的理由により、就学困難な生徒に対し必要な援助を行った。今後も町広報誌などを通じて保護者への制度周知を徹底することはもちろん、国の基準や地域の動向を見極めながら、支給項目、支給基準等について検討していくことが必要である。また、市並びに町立の小中学校では入学前準備金(学用品費)を支給(予定含む)していることから、平成31年度入学前から入学前に支給。				

事務事業名		学校健康管理事業			担当	教育課
目的		健康診断の実施による生徒、教職員等の疾病の早期発見と健康の増進				
事務事業の内容		定期健康診断や生活習慣病予防検診等の実施				
根拠法令等		学校保健安全法、労働安全衛生法				
事業コスト	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	1,184	1,150	1,232	学校医報償 927,600円 薬剤師手当 40,200円
	うち一般財源	千円	1,184	1,150	1,232	生徒・教職員検診委託 264,147円
実績・成果	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	受診率(教職員)	%	100.0	100.0	100.0	ストレスチェックの実施推進
	結核受診率(教職員)	%	100.0	100.0	100.0	
	結核検診等受診生徒数	人	224	218	199	
	結核精密検診受診生徒数	人	0	0	0	
評価項目	評価	評価の主な観点等				
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。 			
		評価に対する説明等				
		法により責務として明記されており、生徒や教職員の適切な健康管理を実施していくことにより健全かつ円滑な教育を確保するため必要な事業である。				
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 			
		評価に対する説明等				
		衛生検査所及び健診センターに委託し、効率的に実施されている。				
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 			
		評価に対する説明等				
		学校医による検診等、効果的な執行を実施している。				
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 			
		評価に対する説明等				
		健康診断の実施は義務であり、非常勤講師も対象に入れ実施している。				
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	生徒・教職員の疾病の早期発見と健康の増進に努めた。教職員が受診しやすい環境を維持するとともに、40歳以上の生活習慣病等に関わる特定健康診査の受診啓発に引き続き努めていく必要がある。				

事務事業名		部活動奨励事業			担当	教育課
目的		学校における体育・文化の振興及び保護者負担の軽減				
事務事業の内容		日常の部活動や各種大会への参加に対する補助				
根拠法令等		各種スポーツ競技大会生徒派遣補助金交付要綱				
事業コスト	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	2,607	2,411	2,446	H29生徒派遣費補助金 1,726千円 H29部活動費補助金 720千円
	うち一般財源	千円	2,607	2,411	2,446	
実績・成果	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	クラブ数	部	7	7	7	(スポーツ)野球部・陸上競技部・卓球部・バレー部・ソフトテニス部・駅伝部・水泳部
	全国大会出場部数	部	0	1	1	(出場部)陸上部
	近畿大会出場部数	部	2	2	2	(出場部)バレー部・陸上競技部
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。			
			・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。			
		評価に対する説明等				
部活動の有効性は学習指導要領でも示されているところであり、こうした運動活動や文化活動を通じ、生徒の資質・能力及び個性の伸長を図ることは必要である。						
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事務は効率的に実施されているか。			
			・ コスト削減の工夫がなされているか。			
		評価に対する説明等				
部活動運営の振興のみならず、保護者の経済的負担の軽減に寄与している。						
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。			
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。			
		評価に対する説明等				
県・近畿・全国大会等への出場には、相当額の交通費や宿泊費を必要とするが、本事業により各家庭の経済的負担を軽減できることから、生徒が安心して部活動に取り組むことができる。						
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の効果は公平に配分されているか。			
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。			
		評価に対する説明等				
学校内で充分検討の上、どの部活動にも効果的に配分実施されている。						
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	学校における文化・体育活動の振興・充実及び保護者の経済的な負担軽減はもとより、生涯を通じて主体的に体育・文化活動に親しんでいこうとする意欲や態度等を育む生涯学習の観点からも維持すべき事業であり、引き続き予算の確保に努めていく。				

事務事業名		学校図書整備事業			担当	教育課
目的		図書に親しみ読書の習慣づくりを推進するとともに、学力の向上を図る。				
事務事業の内容		学校図書館の整備				
根拠法令等		学校図書館法				
事業コスト	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	358	365	408	
	うち一般財源	千円	358	365	408	
実績・成果	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	図書購入数	冊	213	284	184	蔵書数 H27 9,081冊 H28 9,365冊 H29 9,361冊
	標準蔵書数	冊	9,040	9,600	8,480	
	達成率	%	100.5	97.6	110.4	
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。			
			・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。			
		評価に対する説明等				
全国学力学習状況調査等の結果から、「読む能力」の低下が指摘されている中、読書活動の推進が求められており、そのため学校図書館の充実が急務である。						
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		3	・ 事務は効率的に実施されているか。			
			・ コスト削減の工夫がなされているか。			
		評価に対する説明等				
平成21年度から23年度までに寄付や集中的な予算措置によって標準蔵書数を達成したが、今後生じてくる落丁等による廃棄図書の補充等について、計画的な整備を進めていく必要がある。						
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。			
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。			
		評価に対する説明等				
本事業の目的達成には、学校図書の整備・充実が何よりも効果をもたらすものであり、生徒の学力向上等に寄与していると考え。						
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の効果は公平に配分されているか。			
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。			
		評価に対する説明等				
御坊市及び中学校組合双方の予算に照らし合わせて予算配当を行っており、公平性、透明性は保たれていると考え。						
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	子どもの読書活動の推進を図る上で、読書環境の充実が最も重要であり、今後も読書環境の整備に努めていく必要がある。				

事務事業名		学校施設整備事業			担当	教育課
目的		校舎等の整備を行うことにより、教育環境の向上と学習意欲の高揚を図る。				
事務事業の内容		老朽化等により不具合の生じた施設の改修等				
根拠法令等		義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律				
事業コスト	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	2,998	1,827	1,427	体育館放送設備修繕、正面玄関ドア修繕、消火栓設備修繕 外6件
	うち一般財源	千円	2,998	1,827	1,427	
実績・成果	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	修繕等件数	件	16	18	9	
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。			
			・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。			
		評価に対する説明等				
施設を適正に維持・管理し、生徒が快適な学校生活を送っていくために必要な事業である。						
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		3	・ 事務は効率的に実施されているか。			
			・ コスト削減の工夫がなされているか。			
		評価に対する説明等				
施設の劣化は一律ではないため、その都度必要性を判断している。						
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。			
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。			
		評価に対する説明等				
長期的な大規模改修とは別に、既存施設を維持管理をしていく事業であり、緊急度や必要性を考慮しながら実施されており、有効であると考ええる。						
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の効果は公平に配分されているか。			
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。			
		評価に対する説明等				
学校施設の設置は地方公共団体の役割であり、本校を管理するために組合を構成する御坊市及び日高川町がそれぞれ経費を負担しており、公平な事業といえる。						
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	築40年が経過し老朽化してきているが、施設の環境整備を積極的に進めて行く。整備に当たっては、学校が要望するものの中から緊急度や必要性を検討し、予算の範囲内で実施している。今後も要望を精査するとともに、必要な予算の確保に努めていく。				

事務事業名		情報教育環境整備事業			担当	教育課
目的		コンピュータによる授業の充実を図り、生徒の学力及び情報処理能力の向上を図る。				
事務事業の内容		情報手段を活用した学習活動に応えるための情報機器及び学習環境の整備				
根拠法令等		学習指導要領				
事業コスト	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	6,149	6,149	6,149	
	うち一般財源	千円	6,149	6,149	6,149	
実績・成果	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	教師用PC配備率	%	100.0	100.0	100.0	
	校内LAN整備率	%	100.0	100.0	100.0	
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。 ・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。 			
			評価に対する説明等 日進月歩の高度情報化社会で、将来を担う生徒の情報活用能力の向上には欠かすことのできない重要な教育であり、その必要性は大変大きなものがある。			
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務は効率的に実施されているか。 ・ コスト削減の工夫がなされているか。 			
			評価に対する説明等 コンピュータ機器等の導入については、レンタルとし競争入札制を導入することとしているが、業者選定の公平性を確保するための事務手続きに手間を要している。			
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。 ・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。 			
			評価に対する説明等 学校教育を推進するためには必要な事業であり、文部科学省の学校教育における情報化推進政策に沿った事業である。			
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効果は公平に配分されているか。 ・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。 			
			評価に対する説明等 機器等の導入にあたっては、できるだけ学校の要望を聞くとともに、業者選定にあたっては実績を有する業者による競争入札制を採っている。			
総合評価	判定	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない				
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	プログラミング教育の充実を図っていくため、さらに情報環境の整備に努めていく。ハード面での整備は済んでおり、今後はソフト面及びセキュリティ面での充実やモラル研修、情報活用能力の向上を図っていく必要がある。				

事務事業名		学校備品整備事業			担当	教育課
目的		備品の整備・充実を図ることにより、生徒の教育環境の向上と学習意欲の高揚を図る。				
事務事業の内容		老朽化等により不具合が生じている備品及び使用教科用図書の変更等により必要となる備品の整備				
根拠法令等		学校教育法				
事業コスト	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
	決算(見込)額	千円	1,427	1,521	1,634	(H29 主な備品購入) スタンダードスクリーン、デジタル教科書、生徒用機・椅子
	うち一般財源	千円	1,427	1,521	1,634	
実績・成果	区分	単位	27年度	28年度	29年度	特記事項
評価項目		評価	評価の主な観点等			
1	必要性	4	・ 住民ニーズや社会経済情勢の現状に合致しているか。			
			・ 事務事業を本組合教育委員会が実施すべきか。			
		評価に対する説明等				
		より良い教育環境を整備し、生徒の学力向上を図るためには、学校管理の備品の整備は必要不可欠である。				
2	効率性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事務は効率的に実施されているか。			
			・ コスト削減の工夫がなされているか。			
		評価に対する説明等				
学校からの要求内容については学校担当者からのヒアリングを実施し、内容を精査したうえで予算措置を行っている。予算執行においても、その都度、その内容についての必要性等を精査のうえ適正な価格での購入を行うようにしている。						
3	有効性	評価	評価の主な観点等			
		3	・ 事業の目的に照らして効果的な手法か。			
			・ 施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。			
		評価に対する説明等				
学習指導の効率化により生徒の学力向上を図るための手段として、その効果は大きい。また、より良い教育環境の整備には有効である。						
4	公平性 透明性	評価	評価の主な観点等			
		4	・ 事業の効果は公平に配分されているか。			
			・ 説明責任を果たすために適切な情報提供がなされているか。			
		評価に対する説明等				
学校の要望を精査し、また御坊市並びに日高川町の状況も勘案のうえ、必要性が高いと認められるものから整備を行っている。また、予算執行に当たっては公平性を確保し、また透明性を高めるよう努めている。						
総合評価	判定	□十分できている ■できている □あまりできていない □できていない				
	今後の方向性	□廃止・終了 □休止 ■継続 □拡大 □見直し				
	判定理由、課題、今後の対応等	新学習指導要領に即した優先順位付け、緊急性、必要性を充分精査し学校備品整備に努めていく。				